諏訪の景気動向

平成27年5月

（平成27年　4月末　D･I調査）

平成27年5月28日

岡谷市郷田二丁目1番8号

諏　訪　信　用　金　庫

諏訪地方の景気動向 （平成 27 年 4 月末調査）

「平成 27 年 4 月末アンケート調査および企業訪問ヒアリング調査からまとめた諏訪地方の景況」

【概況】 諏訪地方 203 社のご協力を得て行った平成 27 年 4 月末の「景気動向調査（DI調査）」では、回答全社の「3 ヶ月前」と比べた業況判断DIは 7.8 となり、前回調査時（平成 27 年 1 月末、以下同）の△16.4 から、24.2 ポイント改善した。製造業の業況判断DIは 6.6 と、前回の△11.3 から 17.9 ポイント改善した。また、非製造業（商業、観光・サービス業、建設業)の同DIは季節要因もあり 10.8 と前回の△32.5 から大幅改善し、総体的に改善傾向となった。一方、「3 ヶ月後」の業況予想DIは製造業が 5.1（前回 6.4）、非製造業は 7.7（前回 15.0）と前回よりやや悪化予想が増えている。回答全社でも 5.9（前回 8.5）とプラス水準ではあるが、前回より低下した。

消費増税前の駆け込み需要の反動減があった前年同期に比べると、回答全社の業況判断DIは 9.8 となった。好転企業が悪化企業を上回るものの、69.5％の企業が「横這い」か「悪化」としており、厳しさもうかがえる。

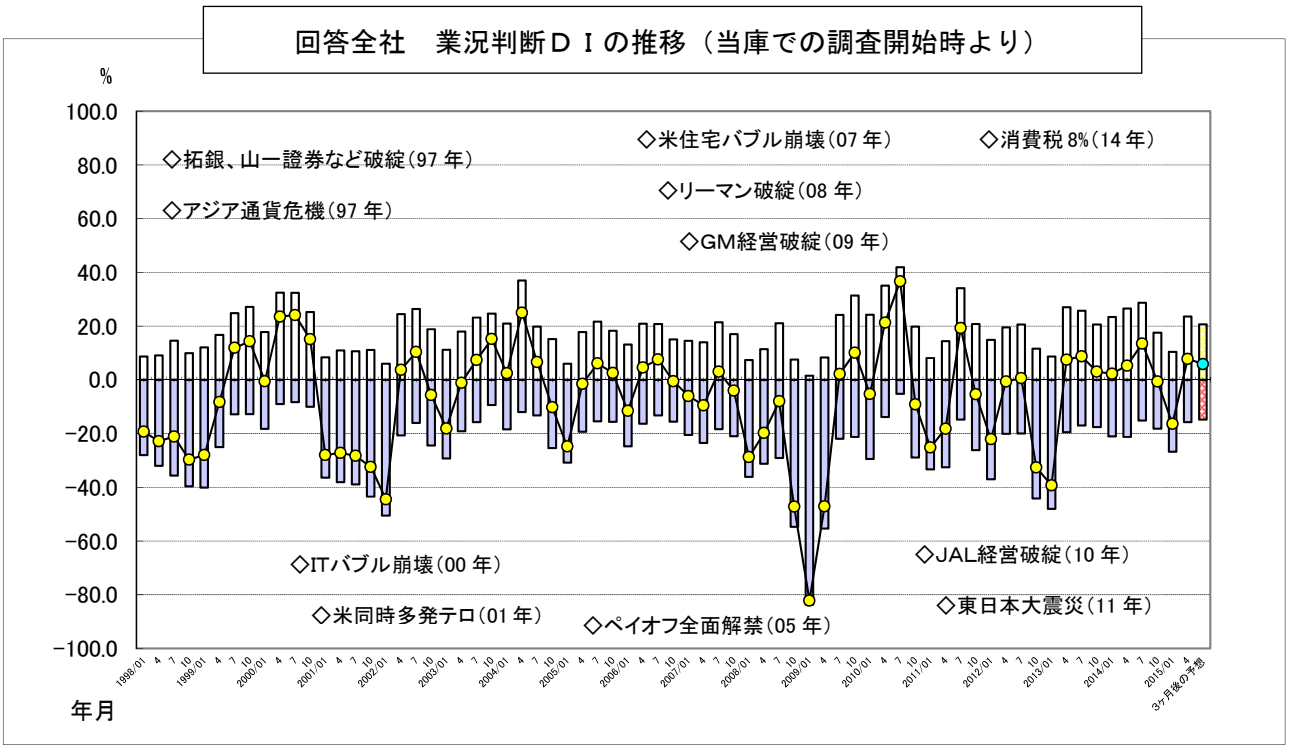
製造業の業況判断DIは、「3 ヶ月前」比で 6.6 と前回調査時の△11.3 から改善し、「前年同期」比も 15.2 で、前回の 0.8 から改善した。「3 ヶ月後」の予想は 5.1 で前回の 6.4 よりやや悪化した。受注状況DIは「3 ヶ月前」比で 3.6 と前回の△9.7 から改善し、「前年同期」比も前回の 0.8 から 14.5 と改善しているが、「3 ヶ月後」の予想は前回の 7.3 から 1.5 へ悪化している。また、収益性DIは「3 ヶ月前」比が前回の△22.5 から△3.6、「前年同期」比は△12.9 から△5.1 へと悪化幅が縮小している。ただ、「3 ヶ月後」の予想は前回の△3.2 から△5.0 とやや悪化予想が多くなった。円安による原材料高などで費用負担の上昇を感じる企業は、前年同期に比べ 44.2％（前回 46.0％）、「3 ヶ月前」との比較でも 26.8％（前回 33.9％）で、相変わらず原材料高を経営上の課題とする企業は多い。「3 ヶ月後」は、費用負担の上昇を予想する企業は 22.5％（前回 26.6％）とやや減少している。

商業は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動が見られた前年同期に比べ、業況判断DIは 6.1 と好転企業(30.3％)が上回るものの、横ばい(45.5％)、悪化(24.2％)の企業も多い。来店客数DIは△6.0 と悪化が上回り、消費者の節約志向が続いている。「3 ヶ月後」の業況予想DIは「好転」と「悪化」予想が同数の 0.0 で、前回の 9.1 から悪化した。収益性予想DIも△3.0 と悪化予想が上回っている。消費増税の影響はなくなったとする企業もあるが、「3 ヶ月前」に比べ「多大」とする企業は前回と同率の 18.2％で、影響が根強く残る企業もある。自動車販売は、諏訪地方の 4 月の車庫証明件数（軽自動車除く）が 891 件で、前年同月比では 16 件増加（1.8％）し、昨年 9 月以来、7 ヶ月ぶりに前年同月を上回った。

観光・サービス業は、「3 ヶ月前」と比べ、業況判断DIは季節要因もあり 40.0 と、前回調査時の△42.1 から大幅改善した。宿泊客数DIも改善し、客単価DIは前回の△36.8 から 20.0 へ改善した。「前年同期比」では、宿泊客数DIが前回の△5.2 から 6.7 へ改善した。ただ、業況判断DIは 21.1 から△6.7 へと悪化しており、厳しさもある。仕入れ材料などの費用負担は 60％の企業が前年より上昇したとしている。一方、本格的な観光シーズンとなる「3 ヶ月後」は、業況予想DIと宿泊客数予想DIが 40.0 で前回の 31.6 より改善している。客単価予想DIも 40.0 と前回の 10.5 から改善している。

建設業の業況判断DIは、「3ヶ月前」と比べて横ばいの企業が減少し、前回調査時の 0.0 から△17.6 へ悪化している。「3ヶ月後」の予想は△5.9 で前回の△10.0 よりやや改善している。受注状況DI は、「3ヶ月前」比は△41.2 で前回の△20.0 から大幅悪化し、「前年同期」比でも△17.7 と悪化が好転を上回っている。「3ヶ月後」の予想は△11.7 で前回の△20.0 からは改善しているが、厳しい見方となっている。諏訪地方の平成 27 年 3 月の新設住宅着工戸数は 73 戸で、前年同月比 7 戸増加(10.6%)した。しかし、平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月の 1 年間の累計着工戸数は 978 戸で、平成 22 年度(954 戸)以来 4 年ぶりに 1,000 戸の大台を割り、前年同期累計比で 385 戸減少(△28.2%)した。3 月から始まった省エネ住宅ポイントの動きも鈍く、受注が伸びていない。平成 27 年 4 月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は 4 件 62 百万円だった。また、市町村からの受注工事は合計 46 件、265 百万円で、前年同月比 11 件、44.8%減少した。

雇用状況は、平成 27 年 3 月の諏訪地方の有効求人倍率が、前年同月を 0.18 ポイント上回り、前月を 0.02 ポイント上回る 1.16 倍となった。一昨年 6 月から 22 ヶ月連続で前年を上回っている。1 倍台は昨年 4 月に回復して以来、12 ヶ月連続となった。長野県は 1.23 倍、全国は 1.15 倍で、全国は 23 年ぶりの高水準を維持し、長野県は 9 ヶ月連続で全国平均を上回っている。諏訪地方は、新規求人数(全数)が 1,643 人で前年同月比 186 人増加(12.8%)し、新規求職者数は 988 人で前年同月比 57 人減少(△5.5%)している。産業別の前年同月比の新規求人数は、その他のサービス業で 44.8%、生活関連サービス・娯楽業で 44.3%増加し、医療・福祉業で 5.1%減少した。求人の要因別では「人員不足」「業務量増大」「創業・新分野展開」が増加し、「欠員補充」が減少した。ただ、非正規社員の求人が伸びていることで、先行きに不透明感を持つ企業心理も見られる。1 件 10 人以上の人員整理はなく、事業主都合による雇用保険資格喪失者は 62 人で、前年同月より 19 人増加し、前月より 20 人増加した。



業況判断DIの推移 「3ヶ月前と比較して」

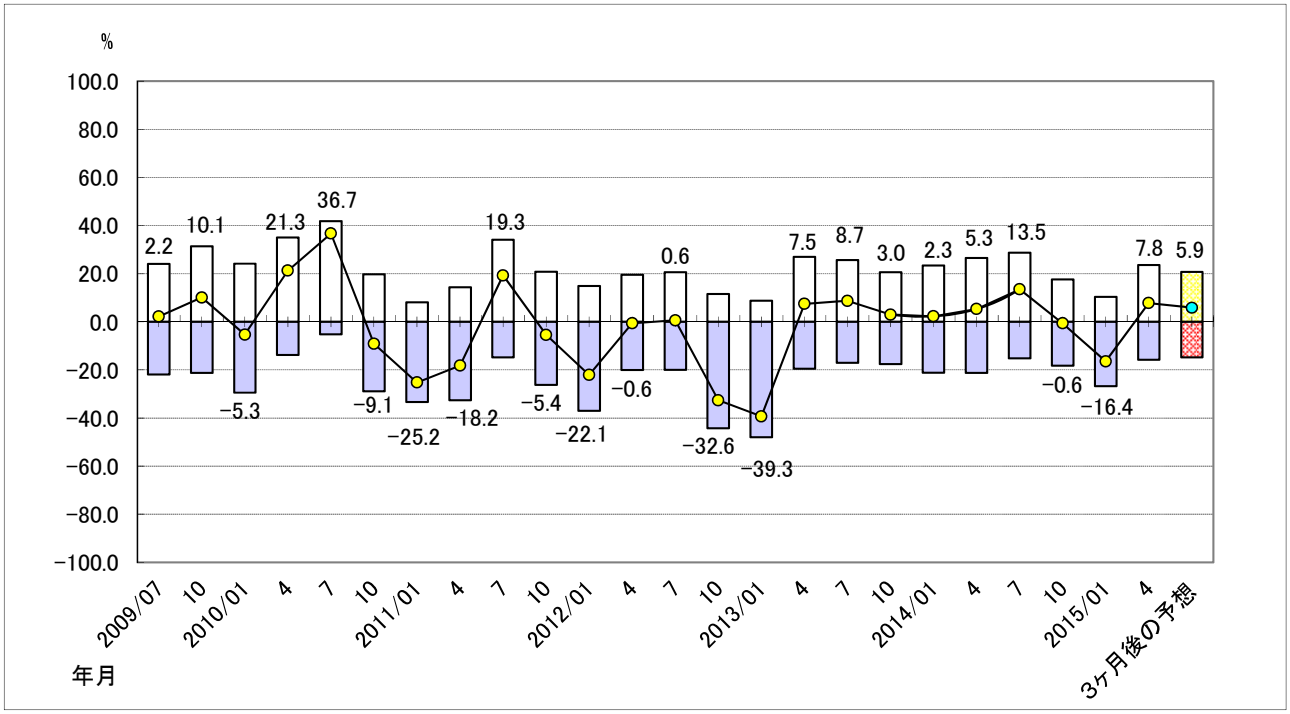
回答全社(203 社)の「3 ヶ月前」と比べた業況判断DIは、「好転」企業が 23.6%、「横這」企業が 60.6%、「悪化」企業が15.8%で7.8と、前回調査時の△16.4から24.2ポイント改善した。前回に比べて、製造業は、「好転」企業が 10.5%から 22.5%へ増加し、「悪化」企業は 21.8%から 15.9%へ減少した。非製造業は「好転」企業が10.0%から26.2%へ増加し、「悪化」企業が42.5%から15.4%へ減少した。原材料高の影響に強弱があり、企業間格差はあるものの、総体的に輸出型の取引先を持つ企業を中心に回復傾向となっている。ただ、3 ヶ月前より費用負担が低下したとする企業は回答全社で 5.4%で、多くの企業が原材料高などの負担を感じている。

産業別業況表　　（企業数・%）表－1

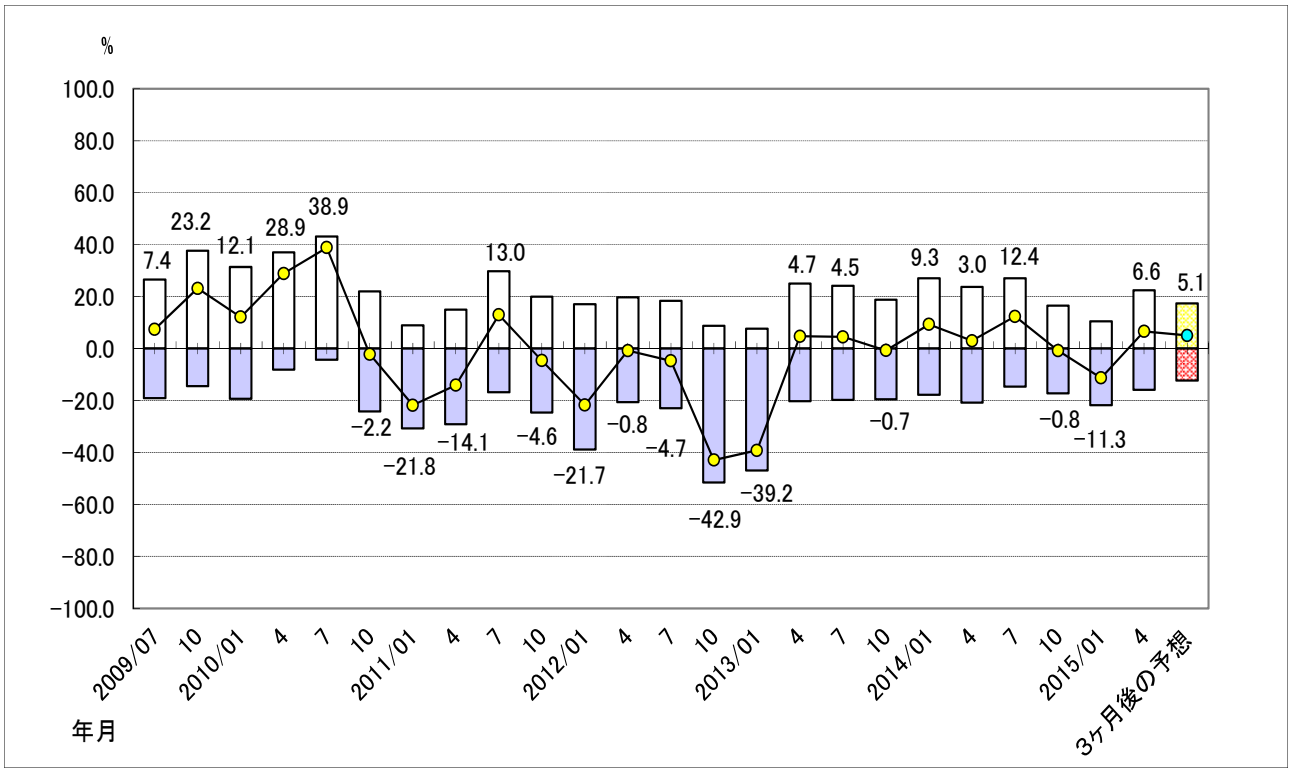
	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
全　体	203	23.6	60.6	15.8	7.8	203	30.5	48.8	20.7	9.8	203	20.7	64.5	14.8	5.9
製造業	138	22.5	61.6	15.9	6.6	138	34.8	45.7	19.6	15.2	138	17.4	70.3	12.3	5.1
非製造業	65	26.2	58.5	15.4	10.8	65	21.5	55.4	23.1	−1.6	65	27.7	52.3	20.0	7.7
商　業	33	24.2	63.6	12.1	12.1	33	30.3	45.5	24.2	6.1	33	21.2	57.6	21.2	0.0
建設業	17	11.8	58.8	29.4	−17.6	17	11.8	64.7	23.5	−11.7	17	17.6	58.8	23.5	−5.9
観光・サービス	15	46.7	46.7	6.7	40.0	15	13.3	66.7	20.0	−6.7	15	53.3	33.3	13.3	40.0

自社業況判断DIの推移

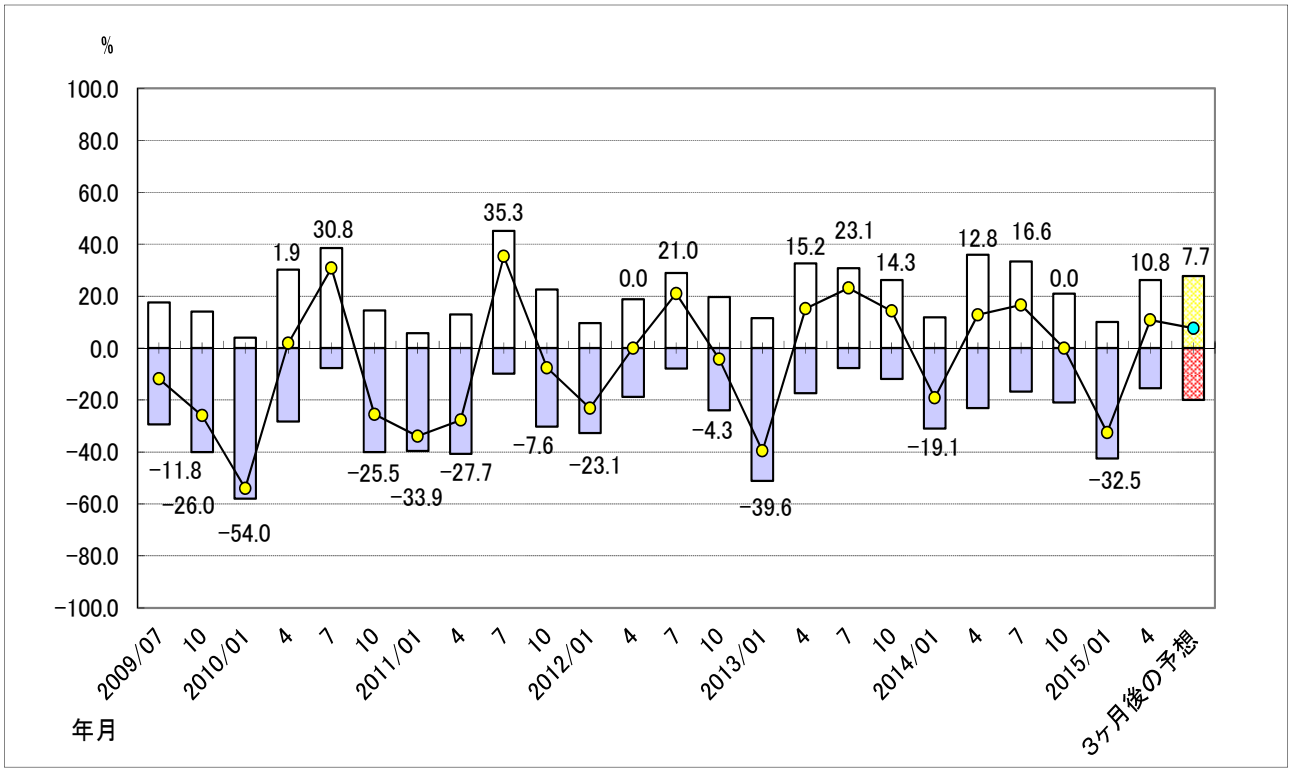
● 回答全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移　　グラフ－1



●製造業:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移　　グラフ－2



●非製造業:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移　　グラフ－3



産 業 別 景 気 動 向

1.製造業

業況判断DIは、企業間格差はあるが、総体的に「3 ヶ月前」比で 6.6 と、前回調査時の△11.3 から 17.9 ポイント改善した。「前年同期」比も 15.2 で、前回の 0.8 から 14.4 ポイント改善した。ただ、「3 ヶ月後」の予想は 5.1 で、前回の 6.4 からやや悪化した。

受注状況DIは、「3 ヶ月前」と比べて 3.6 と、前回の△9.7 から 13.3 ポイント改善した。「前年同期」比は 14.5 で、前回の 0.8 から 13.7 ポイント改善している。「3 ヶ月後」の予想DIは 1.5 と、前回の 7.3 から 5.8 ポイント悪化している。

収益性DIは、「3 ヶ月前」比で△3.6 と前回の△22.5 から 18.9 ポイント改善し、「前年同期」比でも前回の△12.9 から△5.1 へ 7.8 ポイント改善した。ただ、「3 ヶ月後」の予想は△5.0 で、前回の△3.2 より 1.8 ポイント悪化した。依然、原材料の高止まりが収益を圧迫するという声は多い。費用負担は 3 ヶ月前比で 26.8%、前年同期比で 44.2%の企業が上昇している。3 ヶ月後も 22.5%の企業が上昇すると予想している。

消費増税の影響は、「3 ヶ月前」と比べて「多少」とする企業が 48.6%(前回 56.5%)、「多大」とする企業が 7.2%(前回 4.8%)ある。ただ、「なし」とする企業も増えつつある。「3 ヶ月後」の予想では「多少」が 53.6%(前回 61.3%)、「多大」が 3.6%(前回 4.0%)となっている。

業種別(主要 5 業種)の業況判断DIは、「3 ヶ月前」と比べて「金属製品」が 11.1(前回△30.8)、「一般機械」は 34.2(同△3.0)と改善しているが、「電気機械」が△3.4(前回 0.0)、「輸送用機械」は△20.0(同△13.4)と悪化し、「精密機械」が 0.0 で横ばいだった。「前年同期」比では「精密機械」が 38.5(同 21.5)、「一般機械」は 36.8(同 9.1)、「金属製品」は 22.2(同 15.4)、「電気機械」が 17.2(同 0.0)と改善し、「輸送用機械」は△13.3(同 0.0)と悪化した。「3 ヶ月後」の予想DIは、「電気機械」が 17.2(同 4.4)、「輸送用機械」は 6.6(同△6.6)と改善傾向だが、「金属製品」は 5.6(同 23.1)、「一般機械」が△2.6(同 12.2)、「精密機械」が△7.7(同 7.2)と悪化予想が上回っている。

製造業　業種別・規模別の自社業況表　　表－2

		3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
		回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
製造業		138	22.5	61.6	15.9	6.6	138	34.8	45.7	19.6	15.2	138	17.4	70.3	12.3	5.1
規模	1～29人	75	16.0	65.3	18.7	−2.7	75	28.0	53.3	18.7	9.3	75	18.7	65.3	16.0	2.7
	30～99人	43	30.2	53.5	16.3	13.9	43	41.9	37.2	20.9	21.0	43	18.6	74.4	7.0	11.6
	100人～	20	30.0	65.0	5.0	25.0	20	45.0	35.0	20.0	25.0	20	10.0	80.0	10.0	0.0
中分類	金属製品製造業	18	27.8	55.6	16.7	11.1	18	44.4	33.3	22.2	22.2	18	16.7	72.2	11.1	5.6
	一般機械器具製造業	38	36.8	60.5	2.6	34.2	38	42.1	52.6	5.3	36.8	38	15.8	65.8	18.4	−2.6
	電気機械器具製造業	29	13.8	69.0	17.2	−3.4	29	37.9	41.4	20.7	17.2	29	24.1	69.0	6.9	17.2
	輸送用機械器具製造業	15	6.7	66.7	26.7	−20.0	15	20.0	46.7	33.3	−13.3	15	13.3	80.0	6.7	6.6
	精密機械器具製造業	13	23.1	53.8	23.1	0.0	13	38.5	61.5	0.0	38.5	13	15.4	61.5	23.1	−7.7

①諏訪地方製造品出荷額の 70%を占める中分類 5 業種の業況

●金属製品(プレス、メッキ、熱処理など)

業況判断DIは、「3 ヶ月前」と比べて 11.1 で、前回調査時の△30.8 から改善した。「前年同期」比は 22.2 で前回の 15.4 より改善している。「3 ヶ月後」の予想は 5.6 で前回の 23.1 から 17.5 ポイント悪化している。試作や少量部品関連の金型などは好調だが、これまで増加基調だった自動車関連で減産があったり、外注先で総体的な受注が減少しているとする声もあり、先行きに不透明感がある。

●一般機械(工作機械、専用機械、省力機械、検査機械、半導体関連製造設備など)

業況判断DIは、「3 ヶ月前」と比べて 34.2 で、前回の△3.0 から 37.2 ポイント改善した。「前年同期」比でも 36.8(前回 9.1)と改善しているが、「3 ヶ月後」の予想は△2.6 で前回の 12.2 から悪化している。海外向けの自動車関連やスマートフォン向け機械は堅調で、搬送機械、医療関連、半導体実装は堅調に推移している。大手企業の設備投資に安定感を持つ企業もあるが、東南アジアや中国向けの減速も懸念される。

●電気機械(家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど)

業況判断DIは、「好転」企業と「悪化」企業が同数だった「3 ヶ月前」と比べて△3.4 と前回の 0.0 から悪化が増えた。「前年同期」比では 17.2 で、前回の 0.0 より改善した。また、「3 ヶ月後」の予想も 17.2 で、前回の 4.4 より改善した。取引先によって受注状況が異なり、情報機器関連部品でフル稼働の企業がある反面、大手の生産調整の影響を受ける企業もある。

●輸送用機械(自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など)

業況判断DIは「3 ヶ月前」と比べて悪化企業が多く△20.0 で、前回の△13.4 から悪化した。「好転」企業が前回の 13.3%から 6.7%に減り、「悪化」企業が前回と同率の 26.7%だった。「前年同期」比は△13.3 で、前回の 0.0 から悪化した。「3 ヶ月後」の予想は 6.6 で前回の△6.6 から改善している。自動車関連は好調な受注を維持する企業もあるが、総体的に頭打ちの傾向も見られる。

●精密機械(時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など)

業況判断DIは「3 ヶ月前」と比べて 0.0 で、前回と同率だった。53.8%の企業が横ばいとなっている。「前年同期」比は 38.5 で前回の 21.5 から改善した。ただ、「3 ヶ月後」の予想は、悪化予想の企業が前回の 7.1%から 23.1%に増え、△7.7 と前回の 7.2 から悪化した。レンズ関連は総体的に受注量が減少傾向だが、一部には好調が持続する企業もある。

②規模別業況

業況判断DIは、「3 ヶ月前」と比べて「1～29 人」規模が△2.7 で前回の△16.9 から改善し 、「30～99 人」規模も 13.9 で前回の△8.1 より改善、「100 人以上」規模も 25.0 で前回の 0.0 から改善した。「前年同期」比は「1～29 人」規模が 9.3 で前回の△9.2 から改善し、「30～99 人」規模が 21.0 で前回の 13.5 から改善した。「100 人以上」規模も 25.0 と前回の 9.1 より改善した。「3 ヶ月後」の予想は、「1～29 人」規模が 2.7 で

前回の△1.5より改善したが、「30～99人」規模は11.6で前回の18.9よりやや悪化し、「100人以上」規模も0.0で前回の9.1より悪化した。

③受注状況DI（規模別、業種別）

製造業全社の「3ヶ月前」と比べた受注状況DIは、「増加」企業26.1%、「減少」企業22.5%で3.6と、前回調査時の△9.7から改善している。「前年同期」比でも前回の0.8から14.5と改善した。「3ヶ月後」の予想は「増加」企業17.4%、「減少」企業15.9%の1.5で、前回の7.3から悪化している。

規模別の受注状況DIは、「3ヶ月前」と比べて「1～29人企業」は△6.7で、前回の△20.0から悪化幅が縮小した。「30～99人企業」は16.3で、前回の0.0から改善し、「100人以上企業」も15.0で前回の4.6より改善している。「前年同期」比では「1～29人企業」が12.0で前回の△10.8から改善し、「30～99人企業」も20.9で前回の8.1から改善したが、「100人以上企業」は10.0で前回の22.7より悪化している。「3ヶ月後」の予想は「1～29人企業」が△4.0で前回の△3.1からやや悪化し、「30～99人企業」は前回の16.2から7.0と悪化した。「100人以上企業」も10.0で前回の22.7から悪化した。

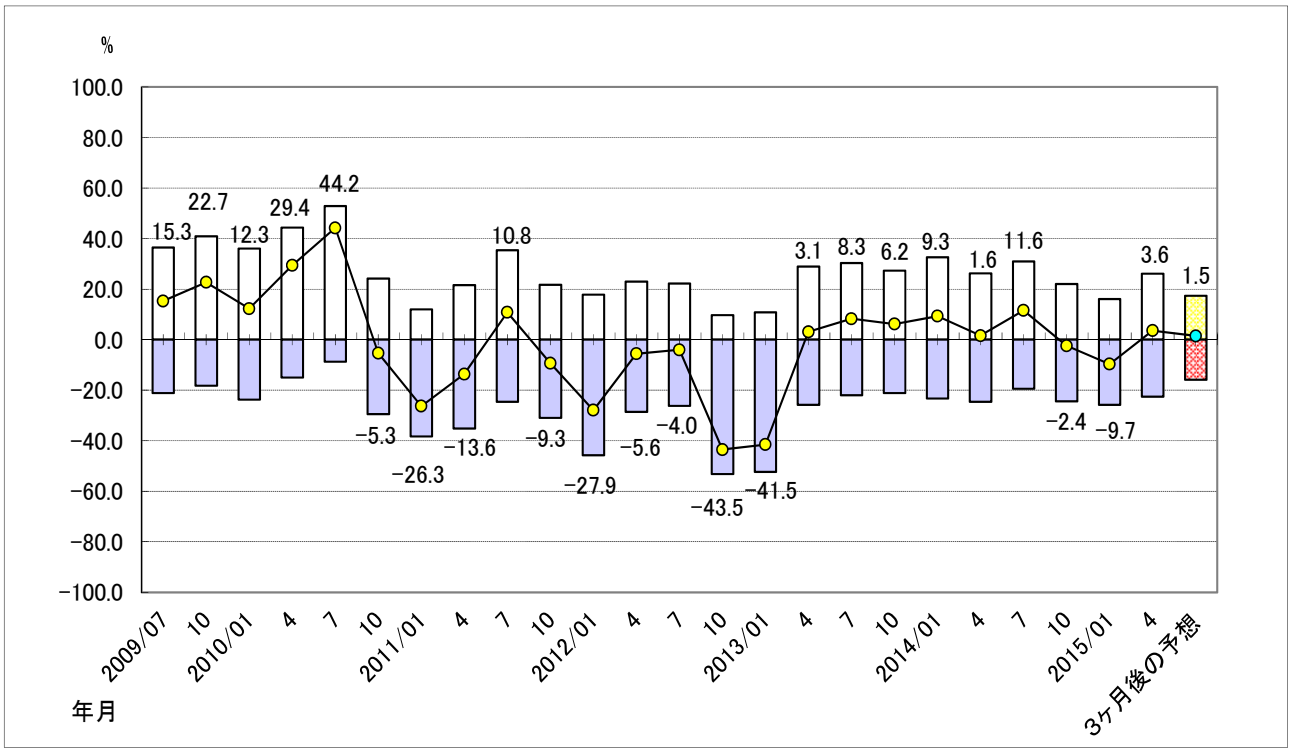
業種別（主要5業種）で「3ヶ月前」比は、「一般機械」が15.8、「精密機械」は15.4で、ともに前回の0.0から改善した。「金属製品」も△23.1から16.7へ改善し、「電気機械」も前回の△4.3から0.0へ改善したが、「輸送用機械」は△6.7から△20.0へ悪化幅が広がり、やや減速傾向が見られる。「前年同期」比は「一般機械」が前回の9.1から31.5、「電気機械」は△8.7から17.2、「精密機械」は7.2から61.5、「金属製品」は7.7から16.7と改善したが、「輸送機械」は20.0から△20.0へ悪化した。「3ヶ月後」の予想は「一般機械」が△21.0で前回の12.1から悪化予想が増え、「金属製品」も30.8から0.0へ悪化している。一方、「電気機械」は8.7から20.7、「輸送用機械」は△6.7から6.6、「精密機械」は0.0から23.1へ改善し好転予想が増えている。国内販売の不振や、中国、東南アジア経済の減速などの影響を受けた自動車関連がやや頭打ちの傾向があるが、総体的には、受注量が増えている企業が多い。

業種別・規模別受注状況表　　表－3

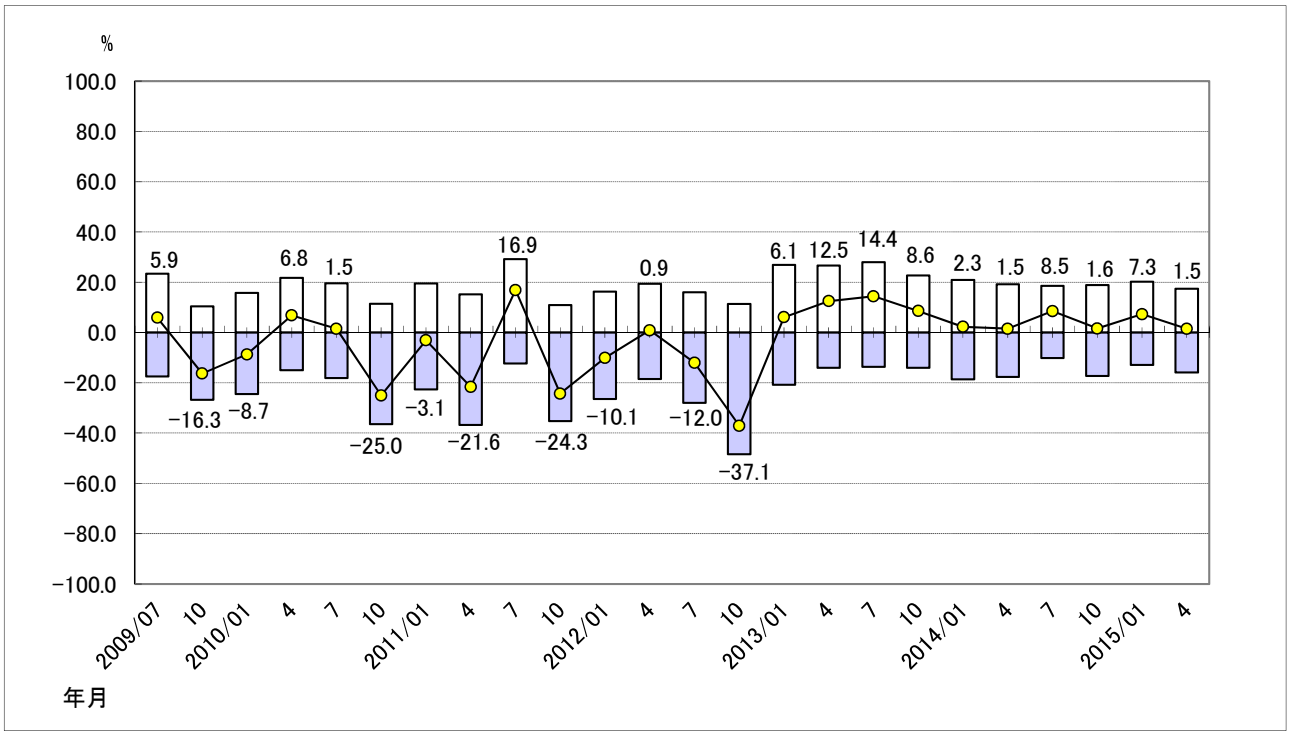
		3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
		回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI
製造業		138	26.1	51.4	22.5	3.6	138	35.5	43.5	21.0	14.5	138	17.4	66.7	15.9	1.5
規模	1～29人	75	20.0	53.3	26.7	−6.7	75	30.7	50.7	18.7	12.0	75	16.0	64.0	20.0	−4.0
	30～99人	43	34.9	46.5	18.6	16.3	43	44.2	32.6	23.3	20.9	43	18.6	69.8	11.6	7.0
	100人～	20	30.0	55.0	15.0	15.0	20	35.0	40.0	25.0	10.0	20	20.0	70.0	10.0	10.0
中分類	金属製品製造業	18	38.9	38.9	22.2	16.7	18	38.9	38.9	22.2	16.7	18	16.7	66.7	16.7	0.0
	一般機械器具製造業	38	31.6	52.6	15.8	15.8	38	44.7	42.1	13.2	31.5	38	5.3	68.4	26.3	−21.0
	電気機械器具製造業	29	20.7	58.6	20.7	0.0	29	37.9	41.4	20.7	17.2	29	27.6	65.5	6.9	20.7
	輸送用機械器具製造業	15	6.7	66.7	26.7	−20.0	15	13.3	53.3	33.3	−20.0	15	13.3	80.0	6.7	6.6
	精密機械器具製造業	13	38.5	38.5	23.1	15.4	13	61.5	38.5	0.0	61.5	13	30.8	61.5	7.7	23.1

製造業の受注状況DIの推移

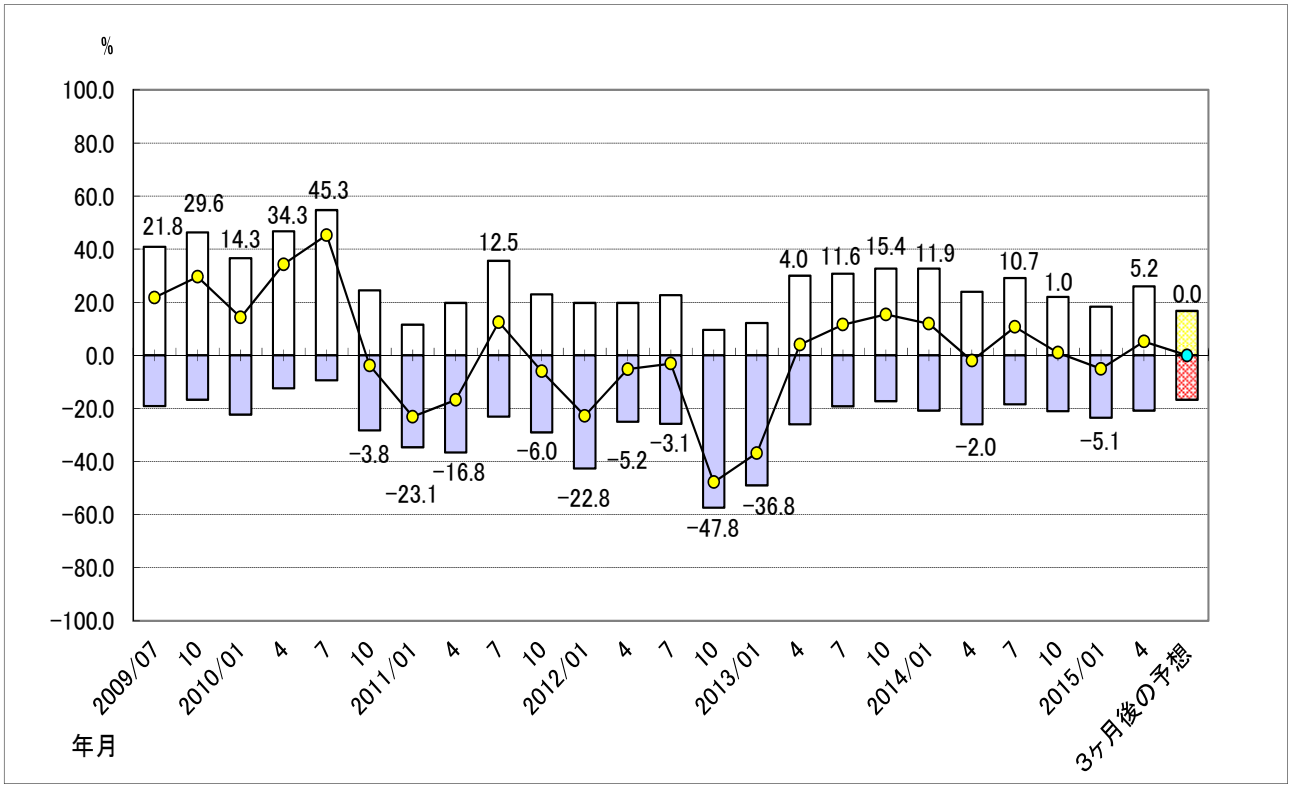
●製造業全社:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移　　グラフ－4



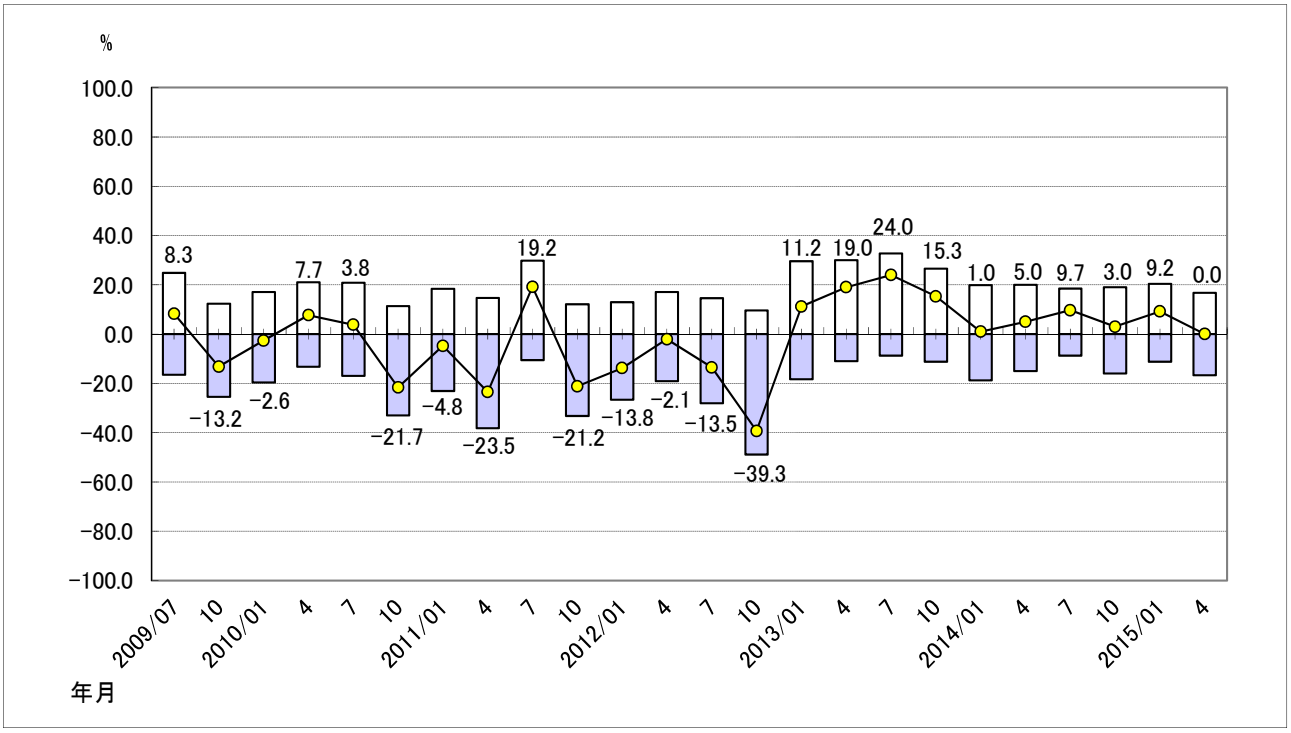
●製造業全社:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移　　グラフ－5



●製造業 主要５業種:「３ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移　　グラフ－6



●製造業 主要５業種:「３ヶ月後」の受注予想DIの推移　　グラフ－7



2.商業・観光サービス業

①商業

「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは、大幅悪化した前回の△45.4から12.1と改善したが、「3ヶ月後」の予想は前回の9.1から0.0へ悪化している。来店客数DIの「3ヶ月後」は12.1と、改善予想が多くなっている。収益性DIは「前年同期」比では前回の0.0から3.0と改善しているが、「3ヶ月前」比では前回の0.0から△3.0、「3ヶ月後」の予想も前回の 18.2 から△3.0 へ悪化している。消費増税の影響は「多少」または「多大」と感じる企業は「3ヶ月前比」で45.5%、「前年同期比」で60.6%、「3ヶ月後予想」で48.5%と根強い。

●食料品　乳製品が値上がりし、生鮮野菜も高値傾向だった。円安の影響や原材料高で値上げが相次ぐ中、各店は各種フェアやキャンペーンで来店客数増を図っている。

●衣料品　4 月上旬に降雪があるなど天候不順で春物より厚手のジャンパー類が動いた。売上が前年と同水準の店舗もあったが、小売りで昨年同期と変わらないのは良い方という声もある。

●自動車　長野県内の 4 月の新車新規登録・届出台数は登録車が 4,160 台となり、前年同月比で 9 ヶ月ぶりに増加した。軽自動車は 3,273 台で 4 ヶ月連続減少した。

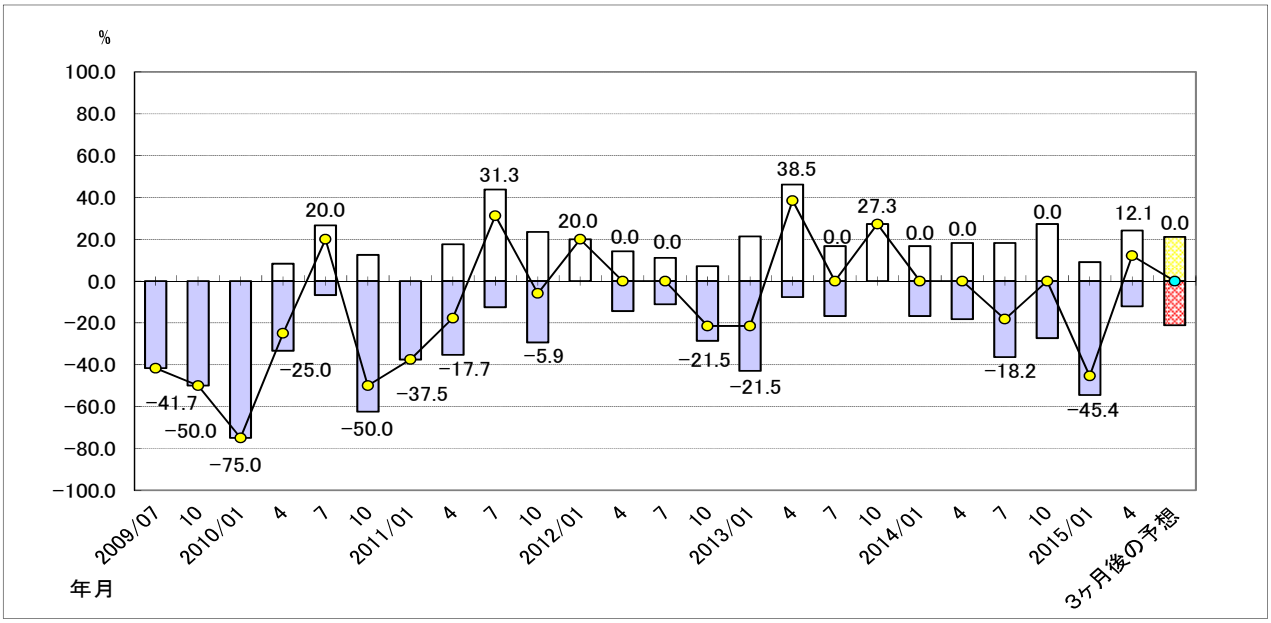
●家電店　パソコンは前年のサポート終了の駆け込み需要に対して今年は低調となっている。

●ホームセンター　レジャー用品や除草剤などの園芸用品が動いた。前年は 3 月の駆け込み需要でまとめ買いがあり、反動で 4 月が落ち込んだため、今年は前年比では売り上げが増加している。

業況、客単価、来店客数　表－4

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業　況	33	24.2	63.6	12.1	12.1	33	30.3	45.5	24.2	6.1	33	21.2	57.6	21.2	0.0
客単価	33	18.2	57.6	24.2	−6.0	33	24.2	51.5	24.2	0.0	33	18.2	66.7	15.2	3.0
来店客数	33	33.3	45.5	21.2	12.1	33	27.3	39.4	33.3	−6.0	33	27.3	57.6	15.2	12.1

●商業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移　グラフ－8



②観光・サービス業

「3ヶ月前」比の業況判断DIは 40.0 で、季節要因などから前回調査時の△42.1 から大幅改善した。「前年同期」比では、客単価DIが前回の△15.8 から 6.6 へ改善し、宿泊客数DIも△5.2 から 6.7 へ改善しているが、費用負担の上昇などで、業況判断DIは△6.7 と悪化企業が上回る。「3ヶ月後」の業況予想DIは 40.0 で前回の 31.6 から改善した。材料などの費用負担が上昇した企業は、「3ヶ月前」、「3ヶ月後」とも 60%となっている。消費増税の影響は、「3ヶ月前」比で 73.4%(前回 73.7%)、「3ヶ月後」の予想では 60%(前回 79.0%)の企業が何らかの影響を感じている。

●上諏訪温泉　4 月の宿泊客数は前年同月比 90%～160%台。立山黒部アルペンルートの人気で海外からの観光客が増加している。善光寺御開帳関連の宿泊客は低調。バス料金のアップや増税の定着で客単価は、やや上昇傾向となっている。

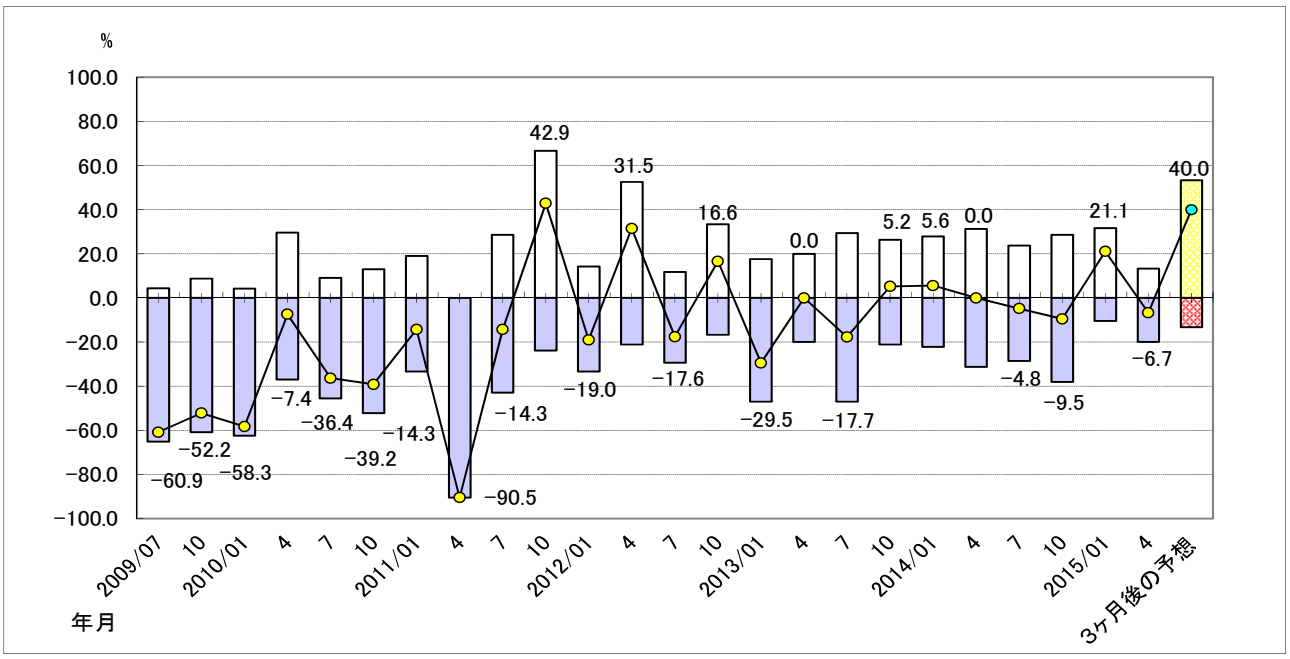
●蓼科・白樺湖・車山方面ほか　4 月は前半が天候不順で客足は鈍かったが、後半からゴールデンウィークにかけ好調だった施設が多い。ただ、団体客は長野、北陸方面にツアーが集中した影響もあって減少傾向だった。

●諏訪大社　上社・下社合わせた 4 月の参拝者数は約 39 千人と、前年同月比約 2 千人の減少(△5.0%)となった。

業況、売上、宿泊客　表－5

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業　況	15	46.7	46.7	6.7	40.0	15	13.3	66.7	20.0	−6.7	15	53.3	33.3	13.3	40.0
客単価	15	33.3	53.3	13.3	20.0	15	13.3	80.0	6.7	6.6	15	40.0	60.0	0.0	40.0
宿泊客数	15	66.7	20.0	13.3	53.4	15	26.7	53.3	20.0	6.7	15	60.0	20.0	20.0	40.0

●観光・サービス業全社:「前年同期」と比べた業況判断DIの推移　グラフ－9



3.建設業

業況判断DIは、「3ヶ月前」比で△17.6と前回調査時の0.0から悪化した。「前年同期」比では△11.7で前回の△10.0とほぼ同様に推移している。受注状況DIは「3ヶ月前」比で△41.2となり、前回の△20.0から大幅に減少している。収益性DIの「3ヶ月前」比も△35.3で前回の△30.0から悪化幅が広がっている。「3ヶ月後」の業況予想は△5.9で、前回の△10.0からは改善している。

●建築工事

諏訪地方の平成27年3月の各市町村の新設住宅着工戸数は岡谷市15戸、諏訪市19戸、茅野市16戸、諏訪郡23戸だった。昨年7月以来8ヶ月ぶりに前年同月を上回ったが、平成26年度1年間の累計では前年同期累計比で385戸、28.2%の大幅減少となった。持家が254戸、分譲は66戸、貸家が32戸それぞれ減少した。長野県全体の3月の新設住宅着工戸数は670戸で、前年同月比12.8%増加した。持家、貸家、分譲とも増加している。

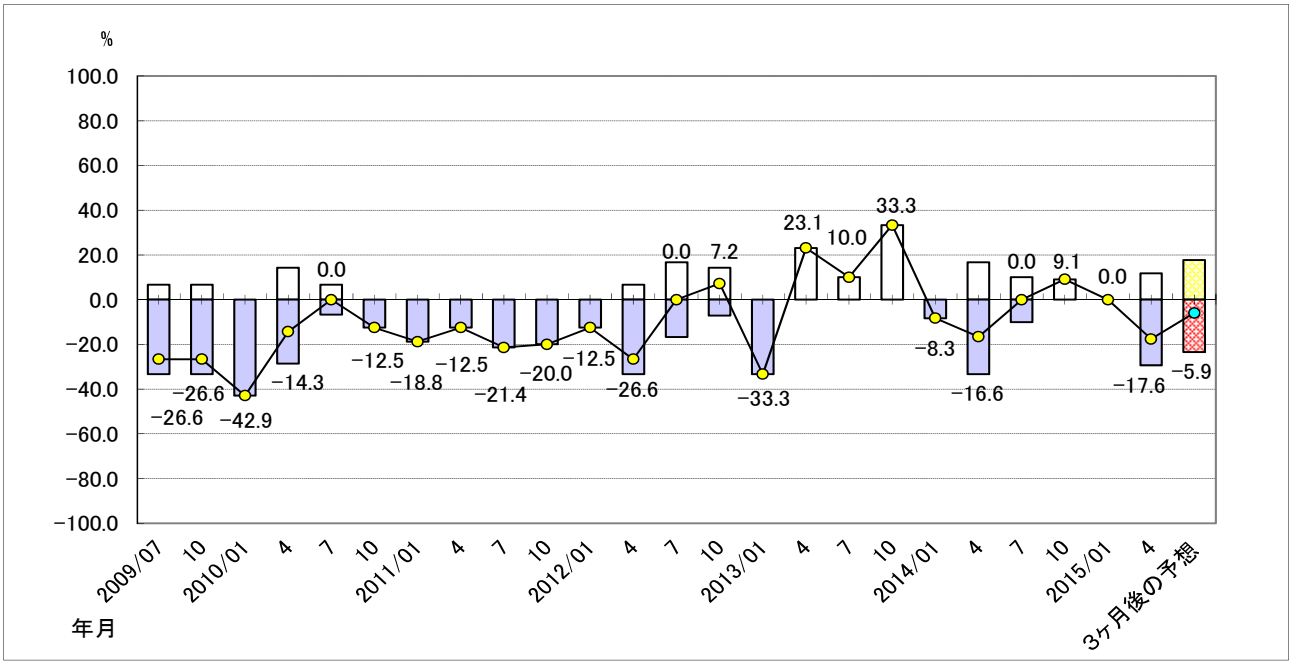
●公共工事

平成27年4月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は、諏訪建設事務所の4件62百万円だった。市町村からの受注工事は前年同月比で件数は11件減少し、契約金額では215百万円減少(△44.8%)した。

業況、受注状況、外注発注量　　表－6

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業　況	17	11.8	58.8	29.4	−17.6	17	11.8	64.7	23.5	−11.7	17	17.6	58.8	23.5	−5.9
受注状況	17	5.9	47.1	47.1	−41.2	17	17.6	47.1	35.3	−17.7	17	11.8	64.7	23.5	−11.7
外注発注量	17	11.8	47.1	41.2	−29.4	17	23.5	41.2	35.3	−11.8	17	11.8	64.7	23.5	−11.7

●建設業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移　　グラフ－10

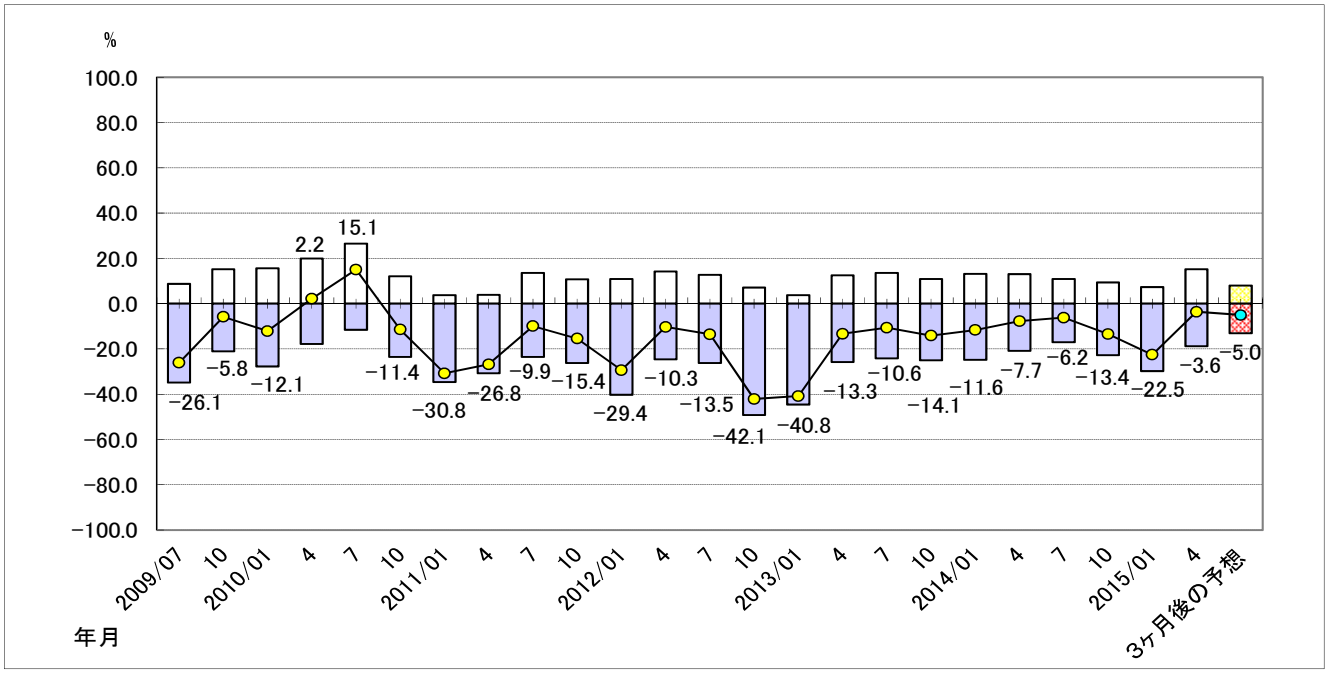


4.収益性状況

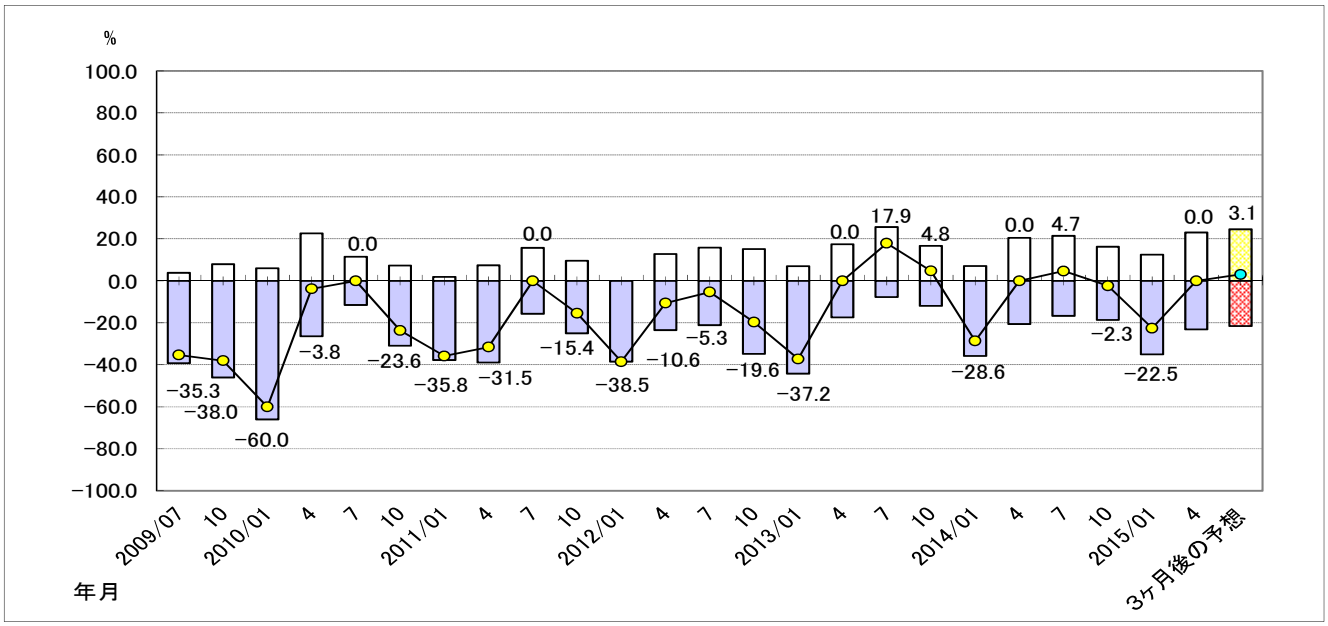
回答全社の「3ヶ月前」と比べた収益性は「好転」企業 17.7%、「悪化」企業 20.2%で、同DIは△2.5 と前回調査時の△22.6から改善した。「前年同期」比も△3.9で、前回の△10.3から6.4ポイント改善した。「3ヶ月前」比の製造業は△3.6 で前回の△22.5 から 18.9 ポイント改善し、非製造業は 0.0 で前回の△22.5 から改善している。原材料の高騰による収益圧迫の声は依然多い。

「3ヶ月後」の予想DIは、製造業が△5.0 で前回の△3.2 から 1.8 ポイント悪化し、非製造業は 3.1 で前回の 2.5 より改善している。回答全社では△2.5 で、前回の△1.8 からやや悪化している。

●製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI　　グラフ－11



●非製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI　　グラフ－12



5.経営上の課題

経営上の課題として①製造業は、売上減少と競争激化②商業は、売り上げ減少と労働力確保③建設業は、売上減少と労働力確保④観光・サービス業は、人件費と売上減少、労働力確保となっている。

経営上の課題	合 計	製 造 業	商 業	建 設 業	観光・サービス業
売上減少	82	51	17	9	5
単価引下げ	27	24	2	1	0
競争激化	58	37	13	6	2
資金繰り	46	29	6	7	4
人件費	36	22	4	3	7
労働力確保	67	36	17	9	5

6.諏訪地方主要経済指標

主要指標			実 数	前年同期比
有効求人倍率【3月】		ハローワーク諏訪	1.16 倍	0.18 ポイント
手形交換高 【4月】（諏訪手形交換所扱）		枚 数	5,668 枚	△540 枚
		金 額	8,786 百万円	△8 百万円
	うち不渡り発生状況	枚 数	2 枚	2 枚
		金 額	343 千円	343 千円
電力使用量 【4月】（中電諏訪営業所管内）		電灯電力計	58,093 MWh	2.3 %
		高圧電力計	94,293 MWh	△4.2 %
		合 計	152,386 MWh	△1.8 %
車庫証明取扱件数【4月】（諏訪地方合計）			891 件	1.8 %
新設住宅着工戸数【H26. 4～27. 3】(諏訪管内)			978 戸	△28.2 %

7.調査概要

DI調査：業況が「好転」と答えた企業割合から「悪化」と答えた企業割合を引いた数値。

① 調査期間　平成 27 年 4 月末。

② 調査内容　「平成 27 年 4 月末」の実績と、「3 ヶ月前」と「前年同期」の業績比較及び「3 ヶ月後」の予想。

③ 調査方法　アンケート調査（回答数 下記⑦）及びヒアリング調査（約 130 社）。

④ 対象地域　諏訪地域全域。

⑤ 業 種　製造業、商業、建設業、観光・サービス業。

⑥ 回答企業数　203 企業。

⑦ 回答率　81.2%

	製造業	商 業	建 設 業	観光・サービス業	合 計
依 頼 数	170	40	20	20	250
回 答 数	138	33	17	15	203